

線形写像 (ランク)

今日の目標

1. 線形写像：たちの良い行列（正則行列）とたちの悪い行列（0行列など）.
2. 行列のランクとは：計算の仕方とその意味.
3. カーネル（核），イメージ（像）とは

次週：連立一次方程式の解の有無
たちの良し悪しの判定（逆行列が存在するための条件）
ランクと核・像と単射・全射

先週までの話

掃き出し法により行列式 (determinant) を求める（先週）.
行列式の意味（前期の復習）.

ランクの求め方 (1)：基本変形による計算で

行列 A に対し，基本変形を繰り返しおこない，

$$\begin{matrix} 1 \\ \vdots \\ r \\ r+1 \\ \vdots \\ n \end{matrix} \left(\begin{array}{ccc|ccc} 1 & \dots & r & r+1 & \dots & n \\ 1 & & 0 & * & & \\ & \ddots & & & \ddots & \\ 0 & & 1 & & & \\ \hline 0 & & 0 & 0 & & \\ & \ddots & & & \ddots & * \\ 0 & & 0 & & & 0 \end{array} \right) = \begin{pmatrix} E_r & B \\ O & O \end{pmatrix}$$

となった場合， $\text{Rank } A = r$ （行列 A のランクは r . 教科書 p.114）.

例：

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \end{pmatrix} \Rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 0 & -1 & 0 \end{pmatrix} \Rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 0 & 1 & 0 \end{pmatrix} \Rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 \end{pmatrix} \Rightarrow \text{Rank } A = 2$$

ランクの求め方 (2)：線形独立（1次独立）かどうかを判断

2×3 行列の場合：3本の2次元ベクトル a_1, a_2, a_3 を列とする 2×3 行列を $A = (a_1 a_2 a_3)$ と書く． a_1, a_2, a_3 のうち，線形独立なもの個数を行列 A のランク（または階数）と呼ぶ．

$n \times m$ 行列の場合： m 本の n 次元ベクトル a_1, a_2, \dots, a_m を列とする $n \times m$ 行列を $A = (a_1 a_2 \dots a_m)$ と書く． a_1, a_2, \dots, a_m のうち，線形独立なもの個数を行列 A のランク（または階数）と呼ぶ．

手がかりが足りない場合（横長行列・核）

$$\begin{cases} x_1 + x_2 + x_3 = 3 \\ 2x_1 + x_2 + 2x_3 = 2 \end{cases} \quad (1)$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \end{pmatrix} \quad (2)$$

$$Ax = y \quad (3)$$

「ぺちゃんことにつぶれる」 \implies 「複数の x が同じ y に移る」

問：「 A でこの y に移ってきました。元の x はどこだったでしょうか」

\implies 「この直線上のどこかにいたはずだ」ということ以外は分からない。

(極端な)例

例 1

$$\begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \quad (4)$$

例 2

$$\begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \quad (5)$$

用語：核 (kernel)

核： $Ax = 0$ に移ってくるような x の集合。 $\text{Ker } A$ と表す。

例 1： $\text{Ker } A$ は 1 次元。

例 2： $\text{Ker } A$ は 2 次元。

ぺちゃんことにつぶれない場合は $\text{Ker } A$ は 0 次元 (原点 o だけ 1 点のみ)。

$y = Ax$ が o でない場合について：

$Ax = y$ だとする。これと同じ y に移ってくるような x' の集合を考える。

$Ax = Ax' = y$ ここから $A(x - x') = o$

$x - x' = z$ とするとこれは $Az = o$ と書け、 z が $\text{Ker } A$ に入っていることがわかる。

逆に、 z が $\text{Ker } A$ に入っている場合。

$x' = x + z$ を作る。 $Ax' = Ax + Az = Ax + o = Ax$

これが「 $\text{Ker } A$ に平行な方向の成分が定まらない」理由。

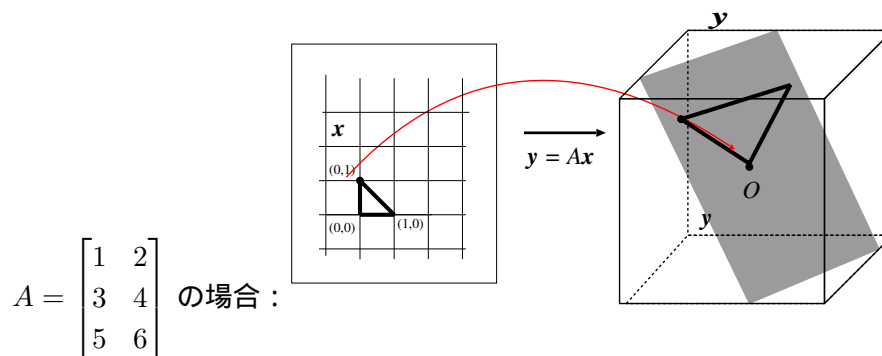
手がかりがりが多すぎる場合（縦長行列・像）

$$\begin{cases} x_1 - x_2 = -1 \\ x_1 + x_2 = -5 \\ 2x_1 - x_2 = 5 \end{cases} \quad (6)$$

$$\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 1 & 1 \\ 2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 \\ -5 \\ 5 \end{pmatrix} \quad (7)$$

$$Ax = y' \quad (8)$$

この式を満たす x は存在しない。→ この y' について「そこに移ってきてくれる x が存在しない」



$$\begin{bmatrix} y_1 \\ y_2 \\ y_3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \\ 5 & 6 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \end{bmatrix}$$

$$\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \\ 5 & 6 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}, \quad \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \\ 5 & 6 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 \\ 3 \\ 5 \end{bmatrix}, \quad \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \\ 5 & 6 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2 \\ 4 \\ 6 \end{bmatrix}, \quad \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \\ 5 & 6 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 3 \\ 7 \\ 11 \end{bmatrix}$$

はみだした y' について：「そこに移ってきてくれる x が存在しない」

用語： 像 (image)

A の像：与えられた A に対して， x をいろいろ動かしたときに A で移りえる $y = Ax$ の集合．
 $\text{Im } A$ と表す．元の空間全体を A で移した領域．

手がかりの個数が合っても... 特異行列

たちの良し悪しは行列のサイズだけではいいきれない．

核 $\text{Ker } A$ や像 $\text{Im } A$ がどうなっているかが本質（プログラミングのための線形代数 p.114）

例題

$$A = \begin{pmatrix} 8 & 6 \\ 4 & 3 \end{pmatrix}$$

行列式 $|A| = 0$ で逆行列が存在しない。

問： A でこの y に移ってきました。元の x は何か。

例： $y = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ のとき。原点以外からも 0 に移ってくる。→ 答：「1 つには絞れません」

$$\begin{pmatrix} 8 & 6 \\ 4 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 8 & 6 \\ 4 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 6 \\ -8 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 8 & 6 \\ 4 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} -3 \\ 4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$$

例： $y = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$ のとき解はない。→ 答：「そのような x ありません」

$$\begin{pmatrix} 8 & 6 \\ 4 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$$

次元定理：

$m \times n$ 行列 A について、

$$\dim \text{Ker } A + \dim \text{Im } A = n$$

ここで $\dim X$ は X の次元。

意味： A は n 次元空間から m 次元空間への写像であり、「もとの n 次元空間から、 $\text{Ker } A$ の次元分がぺちゃんこにつぶれて、残ったのが $\text{Im } A$ の次元分」

例 (2×3 行列)：

$$\dim \text{Ker } A + \dim \text{Im } A = n \rightarrow 1 + 2 = 3$$

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

意味： A は 3 次元空間から 2 次元空間への写像であり、「もとの 3 次元空間から、 $\text{Ker } A$ の次元分 (1 次元) がぺちゃんこにつぶれて、残ったのが $\text{Im } A$ の次元分 (2 次元)」

ランク (階数)： 像 $\text{Im } A$ の次元 $\dim \text{Im } A$: $\dim \text{Im } A = \text{rank } A = n$

次元定理をもう一度： $m \times n$ 行列 A について、

$$\dim \text{Ker } A + \text{Rank } A = n$$

2005年11月14日
線形代数

名前： _____ 得点： _____

小テスト

次の行列 A について以下の問に答えなさい。

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 12 \\ 1 & 3 & 13 \\ 1 & 4 & 14 \end{pmatrix}$$

1. 行列 A のランクを求めなさい。

2. ベクトル $\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$, $\mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \\ 4 \end{pmatrix}$, $\mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 12 \\ 13 \\ 14 \end{pmatrix}$ の線形独立性を判定しなさい。

2005年11月14日
線形代数

名前： _____ 得点： _____

小テスト：解答例

次の行列 A について以下の問に答えなさい。

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 12 \\ 1 & 3 & 13 \\ 1 & 4 & 14 \end{pmatrix}$$

1. 行列 A のランクを求めなさい。

⇒ 第1行 $\times (-1)$ を第2行および第3行に加える。

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 12 \\ 0 & 1 & 1 \\ 0 & 2 & 2 \end{pmatrix}$$

⇒ 第2行 $\times (-2)$ を第3行に加える。

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 12 \\ 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

⇒ 第2行 $\times (-2)$ を第1行に加える。

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 10 \\ 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

答：rank $A = 2$.

2. ベクトル $\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$, $\mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \\ 4 \end{pmatrix}$, $\mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 12 \\ 13 \\ 14 \end{pmatrix}$ の線形独立性を判定しなさい。

Rank $A = 2$ より, 線形独立ではない.